

鋳物工場を彫刻家のアトリエとして提供している川口市元郷の日本金属鑄造工業—金子良治社長(45)—で、初めての展覧会「KAWAGUCHI ART FACTORY彫刻展」が3日、始まった。戦前から炉の炎を絶やさなかった工場が現代美術の展示スペースとしてよみがえり、金子さんは「制作や発表の場、美術に親しめる場として育てていきたい」と喜んでいる。

## 川口の日本金属鑄造工業 ▶

# 初の彫刻展

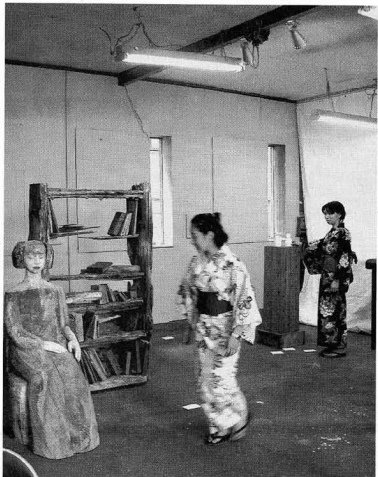


金子良治社長

戦前に建てられた車庫工場だった一部を金子さ

工場の敷地約二千三百平方メートルに立ち並ぶ鉄骨や木造の四棟ほどを展示場人に鉄やブロンズ、木彫に充てた。鉄などを素材とする彫刻の制作は大きな音が出るため、なるべく外部に漏らさないようにするなどの配慮が必要。鉄を使った作業をした彫造所は比較的、好都合だった。

「制作と発表の場」提供／活動の拠点に



芸術家が思いを込められる拠点にしたい。鋳物の街、川口に戦前からある工場が始まった彫刻展

川口市元郷

# アトリエから 鋳物工場 発信

んの祖父、忠良さん(故郷として使えないか)となつたいと思うようになっていた。◇  
人が買い取り、昭和五相談を受けたことがきっかけだったと打ち明ける。今  
十年代半ばまで工作機械 かねた。春から工場を創作を始め  
や金型の部品を作った。金子さんは「今は彫刻 大川上香織さん(三)は、した五人合同の彫刻展は  
以後は貸し倉庫などとし だけで、食べていく。の「川口は「鉄」について きょう四日まで。入場無  
て使っていたが、創作は 現場を間近で見ながら、段をきめて手に入りやす 展覧会を予定している。  
ベースとなったのは約十 五年前、著名な彫刻家の 創作の場も発表の場も限 工場は天井が高く、 問い合わせは同社 8・222・2369。  
鷹尾俊一さんから「作業 作業しやすいです」と話